

あおやぎ

No.304

2026年1月



ロビーコンサートの様子



あおやぎ祭り開催 ②③

専門看護師・認定看護師紹介 ④⑤

山形県立米沢栄養大学との連携事業 ⑥⑦

外来診療案内 ⑧

県立中央病院の理念と方向性

〈理念〉

県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療

- ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します。
- ・医療従事者としての倫理綱領を守ります。
- ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します。
- ・信頼される救急医療を提供します。
- ・地域医療、福祉との連携をします。
- ・将来を担う医療人の教育、育成を行います。
- ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します。



第7回あおやぎ祭り2025を開催しました!

大盛況! あおやぎ祭り

院長 鈴木 克典

昨年に引き続き、2025年9月28日あおやぎ祭りを開催しました。晴天に恵まれ、開始前から続々と多くの住民の皆さんが来てくれました。家族連れが多く、さながら遊園地のような様相でした。今年の私はキャスト役として、蝶ネクタイと病院長のたすきをして、皆さまを出迎えました。そのためか、直接お声がけをいただき、様々な意見を伺う貴重な時間となりました。



このあおやぎ祭りは、地域の住民の皆さんとの交流を通して、病院でどんなことが行われているのかを知ってもらうためのお祭りです。健康相談や展示、体験コーナーなどを通じて、当院の取り組みを知っていただけたのではないかと考えております。ドクターヘリ見学は人気でした。また手術シミュレーターでの外科医体験では、長い行列ができておりました。術衣を着て真剣に取り組む、キラキラと目を輝かせる子ども達の表情は印象に残りました。医療に興味や親しみをもってもらいうれしく思いました。

これからも、皆さまの健康と暮らしを守る“地域の病院”として、安心して相談いただける医療をめざし、職員一同努力してまいります。

最後に、あおやぎ祭りの開催にあたり多大なご尽力をいただいた関係者の皆さま、そして当日運営を支えてくださったボランティアの皆さまに心より御礼申し上げます。

あおやぎ祭り

副院長 饗場 智

「病院の文化祭」とも言える第7回あおやぎ祭りが9月28日に開催されました。当日は天候にも恵まれ、1,300人を超える方々にご来場いただきました。10時に開場した後、院長の挨拶に続き、県立保健医療大学の皆さんにより花笠踊りを、そしてなでしこ保育園の園児の皆さんからダンスや歌を披露していただきました。そのほか、GINAcafé、流れ星の皆さんによるコンサートにも大勢の方にご参加いただきました。ご来場の皆さんからは大きな声援、拍手をいただくことができました。

誌面の都合上、全てはご紹介できませんが、ドクターヘリ見学、働く車への乗車、手術シミュレーターの実技、薬剤師のお仕事も大勢の方に体験していただきました。

ご来場の皆さんには、健康に関する情報はもちろん、日頃目にすることがない、病院職員の姿を見ていただけたのではないかと思います。また職員も日頃とは違う体験ができたことは、大きな喜びとなっており、診療においても大きな励みになっています。

今年ご来場いただきました皆さんのご意見を、ご意見箱などを介してお教えいただけますと幸いです。

来年も、病院職員と地域の皆さんの触れ合いの場として開催したいと考えています。お楽しみにお待ちください。



副主幹(兼)総務課長 後藤 昌宏

9月28日、好天のもと開催された第7回あおやぎ祭り。1,300人を超える多くの方々に御来場いただきました。ロビーでは応援や踊り、コンサートに健康講話と、楽しくて元気になる、あるいはためになるイベントを開催。1階から2階のフロアでは、骨密度、血管年齢、肌年齢の測定などを実施しました。県民の皆さんの健康増進に貢献できたでしょうか。人気のドクターヘリ等の見学や手術・調剤体験、ユニフォームを着て撮影など、多くの子供たちが生き生きと行っていました。将来、一緒に働く仲間になってくださったらうれしいです。

御来場いただいた皆さん、御協力いただいた出演者やスタッフの皆さんに、心より感謝申し上げます。

健康体験ブース

～子供も大人も笑顔で楽しめる体験コンテンツ～

診療機材部 高取 睦子

健康体験ブースでは、手術シミュレーターを使用した外科医体験や、お薬を調剤する薬剤師体験の他、看護師や妊婦・高齢者疑似体験などのなりきり体験を行いました。また、握力測定や骨密度、血管年齢測定などの健康チェックや献血・X線クイズなど13コンテンツの体験を、子供だけでなく大人の方々にも楽しんでいただきました。体験された多くの子供達は、「もっと優しくしようと思った」「楽しかった」「お薬作り上手にできた」など生き生きとした表情で楽しそうに話してくれました。今回の体験を通して、子供達が少しでも医療に興味を持っていたら嬉しいです。

検査部 安達 汰一

あおやぎ祭りでは、ロビーでの園児たちの元気な踊りに加え、地域の学校による花笠踊りも披露され、たくさんの拍手と笑顔が広がりました。音楽の発表も続き、会場は終始あたたかな雰囲気になりました。今年は健康講話がロビーで行われ、多くの方が熱心に耳を傾けておられました。参加された皆さまとともに健康について考える良い機会となり、先生の穏やかな語り口で医療をより身近に感じられたと思います。ご来場いただいた皆さま、出演者、スタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。



山形県立中央病院 専門看護師・認定看護師のご紹介

専門・認定看護師運営企画委員会

はじめに：地域医療連携の核となる看護のチカラ

山形県立中央病院は地域の基幹病院であり、看護部は「県民の人権を尊重し、良質で心のこもった看護の提供」を理念としています。その看護の質を担保し、さらに向上させる役割を担っているのが、「専門看護師(CNS：Certified Nurse Specialist)」と「認定看護師(CN：Certified Nurse)」です。私たちは、特定の専門分野において、卓越した知識、技術、そして実践能力を持つエキスパートです。当院は、これらの専門性の高い看護師を通じて、地域の皆様との連携を一層強化し、患者さんへ切れ目のない、最善の看護を提供することを目指しています。

今回は、当院に在籍するCNS・CNの活動内容をご紹介します。

1. 専門看護師のご紹介

「看護ケアのスペシャリスト」であり、「組織全体のコーディネーター」

専門看護師（CNS）は、複雑で解決が困難な看護問題を抱える個人・家族・集団に対して、水準の高い看護を提供するだけでなく、組織や地域全体を見据えた幅広い活動を展開します。

CNSになるためには、看護系大学院修士課程を修了し、高度な専門知識と、実践・教育・相談・調整・倫理調整・研究の6つの役割を果たす能力が求められます。当院のCNSは、その専門性を活かし、6つの役割をバランスよく果たしながら活動を通じて看護の質の向上に専心しています。

当院のCNS活動分野

当院には、以下の分野の専門看護師が在籍し、入院中の患者さんやご家族、地域の皆様の支援に取り組んでいます。

- ・急性・重症患者看護専門看護師
- ・精神看護専門看護師
- ・老人看護専門看護師

2. 認定看護師のご紹介

「臨床現場におけるエキスパート」であり、「実践と指導のリーダー」

認定看護師（CN）は、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師です。日本看護協会が定める教育課程（半年～1年間の研修）を修了し、認定審査に合格することで資格を取得します。

CNは、主に実践・指導・相談の3つの役割を通じて、臨床現場の看護ケアの質を均質化し、向上させます。

当院のCN活動分野

当院には、多岐にわたる分野の認定看護師が在籍しています。

- ・感染管理認定看護師
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師
- ・クリティカルケア認定看護師
- ・がん化学療法看護認定看護師
- ・がん薬物療法看護認定看護師
- ・緩和ケア認定看護師
- ・乳がん看護認定看護師
- ・がん放射線療法看護認定看護師
- ・摂食・嚥下障害看護認定看護師
- ・新生児集中ケア認定看護師
- ・手術看護認定看護師
- ・慢性心不全看護認定看護師
- ・認知症看護認定看護師
- ・糖尿病看護認定看護師



3. 私たちがお届けする「安心」と「信頼」

当院の専門看護師・認定看護師は、それぞれの分野で培った専門性を活かし、患者さんやご家族、そして多職種の病院スタッフと共に、より安全で、より質の高い、心に寄り添った看護を提供するために日々尽力しています。

「もっといいケアはないだろうか」「この患者さんの痛みや不安にどのように関わったらいいだろうか」といった現場の疑問や課題に対して、スペシャリストとしての知見をもって対応し、当院全体の看護のチカラを高めています。

また当院の専門・認定看護師企画運営委員会では、毎月議題を持ち寄り、話し合いを重ねています。活動を行う上で共通する障壁や悩みについての意見交換、院内外への活動周知や専門看護師・認定看護師を目指す若手看護師に向けた広報や育成活動、病院が企画するあおやぎ祭りへの参画など、内容は多岐に渡ります。

活動の写真紹介

抗がん剤副作用へのアピアランス（外見）ケア（ウィッグ体験、ネイル体験）



糖尿病フットケア



感染予防の啓蒙ポスター



専門・認定看護師企画運営会議の様子



さいごに

当院の専門看護師・認定看護師は、院内の活動に留まらず、持続可能な地域の医療・ケア全体の底上げを目指しています。当院の専門看護師・認定看護師に関するご質問やご意見がありましたら看護部までご連絡ください。

山形県立米沢栄養大学との連携事業

「学生コラボ・おいしい減塩メニュー」を提供しました

栄養管理室

令和7年9月26日(金)の昼食に、山形県立米沢栄養大学の学生と山形県立4病院（中央病院・新庄病院・河北病院・こころの医療センター）の栄養管理部門が共同で考案した減塩メニューを提供しました。

この事業は平成27年からスタートし、今回で12回目の提供となりました。

「学生コラボ・おいしい減塩メニュー」では、1食あたりの食塩相当量が2.0g未満となるように献立を調整しています。実際に召し上がった患者さんからは、「減塩を感じさせないくらいおいしかった。」「ご飯がすすむ味付けでした。」「家でもやってみたい。」とお褒めの言葉をいただきました。



テーマ／減塩で楽しむ和のさっぱり膳

メニュー／・ごはん

- ・赤魚のおろしポン酢がけ
- ・切り干し大根とツナのサラダ
- ・さつまいもの彩りごま和え

栄養価／エネルギー：518kcal

食塩相当量：1.9 g

減塩のポイント

赤魚のおろし ポン酢がけ



ポン酢は醤油より食塩相当量が少なく、減塩に適した調味料です。

切り干し大根と ツナのサラダ



マヨネーズのうま味とコクで味を補い、食塩相当量を抑えました。

さつまいもの 彩りごま和え



すりごまの風味とだし汁のうま味を効かせました。

提供日当日は、山形県立米沢栄養大学の学生が実際に厨房で盛付業務を経験しました。昼食時は管理栄養士とともに病室を訪問し、食事を召し上がっている患者さんに感想を伺いました。

〈参加した学生の感想〉

- ・すべての食材が均等に入るように盛り付けることが難しかった。
- ・病棟訪問の際は、知識はもちろん、患者様の名前を呼び、コミュニケーションをとりながら声かけをしていくことが大切だと分かった。
- ・厨房の壁に調理作業時の注意事項が複数貼られていた。情報をもれなく伝えることの難しさを感じた。



自宅でできる減塩の工夫

加工食品の食塩相当量は「栄養成分表示」で確認を

加工食品の食塩相当量はパッケージに記載の「栄養成分表示」で確認できます。購入する時の参考にしましょう。

注意 栄養成分をチェックするときに注意したいのが、単位です。「1食あたり」なのか「100gあたり」なのかをよく確認しましょう。

栄養成分表示 (1個〇gあたり)	
熱量	〇kcal
たんぱく質	〇g
脂質	〇g
炭水化物	〇g
食塩相当量	〇g

調味料に含まれる食塩相当量に注意

山形県民の食塩摂取量のうち約7割は調味料によるものです¹⁾。普段の調味料の使い方に気をつけることが減塩につながります。

調味料小さじ1杯あたりの食塩相当量の比較²⁾

食品	醤油	みそ	ソース	ポン酢	減塩醤油	ケチャップ	マヨネーズ
食塩相当量	0.9g	0.7g	0.5g	0.5g	0.4g	0.2g	0.1g

味つけを
確かめてから
使用しましょう



これまで「学生コラボ・おいしい減塩メニュー」で提供した献立のレシピは、病院のホームページで公開中です。

〈参考文献〉

- 1) 令和4年 山形県 県民健康・栄養調査
- 2) 山形おすすめレシピ 第7号

ブロック	診療科	診療曜日					ブロック	診療科	診療曜日				
		月	火	水	木	金			月	火	水	木	金
A	内科	●	●	●	●	●	D	産婦人科 (産科)	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	呼吸器内科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ		産婦人科 (婦人科)	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ
	血液内科	△	△	△	●	△		頭頸部・耳鼻咽喉科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	糖尿病・内分泌内科	△	△	●	△	△	E	小児科 新生児内科	●	●	●	●	●
	循環器内科	●	●	●	●	●		小児外科	△	● 午後のみ	△	△	●
	消化器内科	●	●	●	●	●		皮膚科	●	●	●	●	●
B	整形外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	△	F	形成外科	●	△	●	△	●
	眼科	● 要紹介状	● 要紹介状 10時30分まで	● 要紹介状	● 要紹介状 10時30分まで	● 要紹介状		外科	●	●	●	●	●
	歯科口腔外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		呼吸器外科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ
C	脳神経外科	●	●	●	●	●	放射線科	乳腺外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	△	FAX 予約のみ
	泌尿器科	FAX 予約のみ	△	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		心臓血管外科	△	●	△	△	●
	心療内科	△	△	△	△	△		緩和医療科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	脳神経内科	●	●	△	△	●		放射線科	●	●	●	●	●

当院を受診する時は

◎初めて受診される方

- ・総合受付（初来院受付）に診察申込書、問診票及び紹介状（紹介状をお持ちの方）を提出のうえ、受付してください。
- ・総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

◎再来の方

- ・予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- ・再来受付機は、午前7時30分からご利用になれます。

◎マイナ保険証（保険証利用登録済のマイナンバーカード）または資格確認書のご提示がないと全額自己負担になります。マイナ保険証をご利用の際は、カードリーダーの登録操作が必要になります。

◎「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として7,700円（税込）を頂いております。また、当院から他医療機関（大病院を除く）への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、3,300円（税込）を頂いております。ただし、助産にかかる療養費等の場合は、非課税となります。

※緊急入院等の場合は除きます。

紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、紹介型外来または完全予約制（かかりつけ医からのFAX予約）による医療提供を実施しております。

- 初めての方・予約の方は受診できます。
- △ 予約のある方のみ受診できます。

要紹介状

眼科、産科、頭頸部・耳鼻咽喉科、緩和医療科
FAX 予約のみ
呼吸器内科（火・金）、整形外科、歯科口腔外科、泌尿器科、婦人科、呼吸器外科、乳腺外科

※内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

- ・再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付しております。

- ・「かかりつけの先生」からのFAX 予約も受付しております。

TEL 023-685-2620（午後1時～午後4時）
※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

FAX 023-685-2606
（平日／午前8時30分～午後6時 土曜／午前8時30分～午後2時30分）